

水と森林に関する行動のための琵琶湖宣言（仮訳）

水と森林円卓会議

2003年3月21日 滋賀県大津市

世界は「水危機」に直面している。人間の基本的な必要性を満たすだけの水を確保することもできない地域がある一方、水をコントロールできずに洪水や土砂災害に見舞われている地域も存在している。他方、世界は「森林危機」に直面している。森林は、熱帯地域を中心に森林火災、過剰な伐採や違法な伐採、人口の増加、貧困など自然及び社会経済的な要因により、急激に減少又は荒廃しつつある。全世界で毎年約900万ヘクタールの森林が消失し、洪水や地滑り、土砂の流出、砂漠化及び生物多様性の喪失などのきわめて深刻な影響を招いている。

森林に覆われた河川流域は、上流から下流に至るまで、家庭、農業、産業及び生態系のための水の多くの供給源となっている。反面、森林が生育のために水を消費するということを認識しておく必要がある。

このように、水の問題と森林の問題は、相互に密接に関連しているが、国際的に見ると森林の問題と水の問題はそれぞれ別々の場で議論されている状況にある。こうした現状を踏まえ、第3回世界水フォーラムの中で、様々な立場の水問題に関する関係者と森林問題に関する関係者が、この「水と森林円卓会議」に参加し、以下のような行動を一致して推進するものである。

行動

- 1 我々は、水問題の解決に向けた、包括的かつ多面的な水管理プログラムの一環として持続可能な森林経営のための行動の必要性について確認する。我々それぞれが、それぞれの立場で、また連携協力して、森林、水、流域、環境、生物多様性保全、人間社会などに係る必要な政策と戦略立案を通じて、総合的かつ分野横断的に、地域的、国家的かつ国際的なレベルでの問題解決に取り組む。
- 2 我々は、上流と下流の相互作用及び集水域から海洋までの森林と水との関係について理解を深めることの必要性を認識するとともに、関連する課題、特に森林が河川流量、洪水緩和、地下水のかん養その他の水に関する現象に及ぼす影響についてのさらなる調査研究やモニタリングを推進する。我々は、健全な水循環系の保全と回復のための適切な総合的流域管理及び森林の水文学的な機能に関する総合的な評価を促進させるため、これらの行動の成果を活用する。
- 3 我々は、森林及び水に関連するさまざまな政策や管理手法がもたらす文化的、社会経済的影響を認識し、地域の人々の伝統を尊重するとともに、上下流の関係を促進させる仕組みの開発を通じて、政府、地域社会、一般市民及び全ての利害関係者間の協力の体制やパートナーシップを促進する。
- 4 我々は、持続可能な森林経営を促進するため、利害関係者、政策決定者及び一般の市民に対して科学的知見と情報を普及していくことが緊急に求められている。このため結果として生じた水問題の解決のため、どのような情報を必要としているのかを考慮し、効果的かつ理解しやすい教育手法を開発するよう努める。我々はまた、知識の共有と人材の育成の促進を目的として、共通の理解を共有し、水と森林に関する情報と経験を交換するためのネットワークを開発する。